

令和4年度 第2回 七飯町公営企業経営審議会

開催日時及び場所	令和4年8月26日（金）午後4時00分～午後5時30分 七飯町役場 202会議室
委員 (委員数 7名) (出席数 6名)	<p>会長 堀田 市雄 (七飯町町内会連合会 会長) 出席</p> <p>副会長 河村 早織 (行革推進委員) 欠席</p> <p>委員 奥寺 文子 (七飯町社会福祉協議会 副会長) 出席</p> <p>委員 川又 修治 (七飯町商工会 会長) 出席</p> <p>委員 富岡 秀廣 (北海道税理士会函館支部指導研修部長) 出席</p> <p>委員 村瀬 克己 (七飯町身体障害者福祉協会 事務局長) 出席</p> <p>委員 山川 俊郎 (七飯町教育委員) 出席</p> <p style="text-align: right;">※会長、副会長を除いて50音順、敬称略</p>
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 現在の七飯町水道ビジョン</p> <p>3 諮問事項の精査・要求資料の検討（人口の設定について）</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

委員会からの意見等

1. 現在の七飯町水道ビジョンに対する質疑応答

- 災害時、停電時等外部からの電源の接続ができる態勢にあるとのことだが、外部電源は上下水道課で保有しているのか。
(回答) 水道事業用2機、下水道事業用4機を上下水道課で保有している。
- 水道施設・下水道施設の現地視察を実施したい。
(回答) 次回、視察の機会を設ける。

2. 諮問事項の精査・要求資料の検討（人口の設定について）に対する質疑応答

- 前町長は、町の人口増の要因に新幹線車両基地の建設があると発言していたが、新幹線が札幌まで延伸した際に、車両基地職員の定住による人口増は見込めるのではないか。
(回答) 令和4年1月1日時点の人口資料より、社会増の数が車両基地の職員数である約300人より少ないため、職員すべてが七飯町内に定住しているわけではなく、札幌延伸後も定住人口の増加はあまり見込めないと思われる。

2 節水家電の普及、飲料水の購入など生活スタイルの変化により今後使用水量は減少していくと思われるが、町民の水利用の目的として一番多いのは何か。

(回答) 生活用水等の洗い水(洗濯、トイレ等)での利用が多く、飲用としては2割程度である。